

いきいき

生涯学習だより『いきいき』

神流町教育委員会事務局

社会教育主事 茂木 宏隆

syakyou@toun.kanna.gunma.jp

神流町家庭教育研修会

「いきいき育つ子どもとの関わり方」 10月19日



この事業は、本年4月1日に施行された「ぐんまの家庭教育応援条例」を受け、西部教育事務所が保護者の学びを支援するもので、「神流町教育の日」重点期間事業として実施しました。テーマは「いきいき育つ子どもとの関わり方—どう叱る?—」で、研修会の推進役に西部教育事務所の社会教育主事である大澤令子さんを迎え、参加体験型で進めました。当日は平日の夜にもかかわらず、約20名の方々に参加いただき、少人数班で熱心な話し合いがなされました。

<話し合い2>

子どもが門限時刻から30分遅れて帰宅。理由を問うたら、めんどくさそうな反応をしたとき、どう対応するか

どの班も、「きちんとしつけない」という気持ちが伝わってきて、有意義な時間もてたと強く感じました。

今後の子育ての参考に、文部科学省「家庭教育手帳」などもWebページでダウンロードできますので、ぜひご活用ください。



<話し合い1>

「約束の時間を過ぎててもゲームをしている」、「地域の人に会ってもあいさつをしない」、「ポケットにティッシュを入れたまま洗濯機に入れた」など、8つの子どもの行動に対して、どう対応するか



和やかで熱心な話し合い

<参加者の感想>

- ・このような講座は初めてでしたが、他のお父さん、お母さんとテーマを決めて話しをすることは、とてもおもしろい体験でした。いろいろなテーマでやってみたいです。
- ・他の参加者の意見を聞くことができ、また、意見交換ができ、大変参考になりました。1時間半の時間があっという間でした。
- ・自分の話をしたり、話を聞いたりする機会も少ないので、このような時間を過ごせて良かったです。色々な接し方、人それぞれなんだなあと思いました。

件件子育て 上手に叱る

表面に続きます。上手な叱り方のヒントは、研修会の中で皆さんが言われていたように、「叱られる側（子ども）」の立場で考え、気分や感情に流されず一貫性をもって叱ることだそうです。

『怒らない技術』、『子どもが変わる 怒らない子育て』などの著者、日本アンガーマネジメント協会理事である嶋津良智(よしのり)さんは、「子育てについて学び、変わる親は、“〇〇だからしょうがない”と自分を正当化せず、たとえ理想論だと思っても、自分を変えるために努力する人」だと言っています。「怒らないこと」についても技術があり、普段の反復練習が必要だそうです。

怒りをコントロールするには？

10月22日に富岡市で行われた西部地区PTA指導者研修会では、同協会のシニアファシリテーター 畑さち子さんが、怒りをコントロールする3つのコツを、次のように教えてくれました。

- ①頭に来ていることを、指で手のひらに書かなどして、怒る衝動を“6秒”待つ。
- ②こうあるべきと考える「自分の理想」と、「少し違うが許容可能なこと」、「自分と違い許容できないこと」の境界はブレないようにして、許容範囲を少しずつ広げるようにする。
- ③自分の行動のようにコントロール可能なことと、他人の行動のように、自分でコントロール不可能なことを分類して整理する。

できることから、ぜひ実践してみてください。正しいしつけは子どもへの大切な贈り物です。怒りを抑え、一貫性をもって叱り、よい子を育てていきたいですね。

第5回いきいき教室開催 沼田方面へ管外研修 10月24日(月)

35名の方の参加で、NHK大河ドラマ「真田丸」のもう一つの舞台である沼田方面へ管外研修に行ってきました。市内会場の「上州沼田真田丸展」では、ドラマに登場する衣装や小道具の“実物”の展示があり、ドラマの展開と当時の真田領の状況を分かりやすく展示されており、大河ドラマファンにはたまらない内容だったようです。沼田城趾公園は、4人のガイドさんが対応してくださり、少人数に分かれて、ていねいに見学してきました。道の駅 田園プラザ川場は、「関東好きな道の駅」5年連続第1位に選ばれる人気の道の駅で、散策と買い物を楽しんできました。



沼田城趾公園で熱心に説明を聞く